



武雄市議会議員

TOYOMURA TAKASHI NEWSPAPER

令和8年1月発行

とよむら貴司 議会・活動報告

No. 18

令和7年度を振り返って

ごあいさつ

さまざまなことが動き社会の変化を感じる中、新しい年がスタートしました。2026年になく2025年であったのではないかと思います。変化する社会の中でも必要なことは安心感であり、幸福感だと思います。市議会議員として12年目の今、政治は日常という思いで皆様の声を伺いながら取り組んできました。今年が今を安心して、そして未来への希望をもてる、そんな武雄市へとつながれたらと思います。令和8年も引き続き、活力ある武雄市を目指して取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

注目トピック①

武雄アジア大学、4月開学へ

令和7年8月、文部科学省より大学設置の認可が下りました。これにより、市が大学建設に関わる約13億円の予算支出が決定しています。これまで私は、市の関与のあり方について、議会や特別委員会で繰り返し確認・質問を行ってきました。今後は、学校法人と市との約束事項や運営状況を確認する協議会が設置され、議会としても経過を注視していくこととなります。さまざまなご意見がある中、私自身も今後の運営を丁寧に見守っていきます。

注目トピック②

文化会館大ホールの今後

これまで「改修による長寿命化」が示されていた文化会館大ホールですが、新文化交流施設とあわせた費用が当初想定55億円を超えることから、昨年12月議会で「一旦白紙」とする方針が示されました。私が委員長を務める福祉文教常任委員会では、

- 改修しても使用想定は約30年
- 新築と同等、またはそれ以上の費用がかかる
- 将来的に人口減少が進む中、再整備が難しくなる可能性

といった点から、現在の大ホールは解体を前提に検討すべきとの意見でまとまり、市へ伝えました。※これは「ホール不要」という意味ではありません。

市では文化団体への説明会を実施されていますが、11月に行った福祉文教常任委員会では「新たなホールの必要性を前提に、規模・機能・財政面を整理しながら前に進むべき」という考えを市の担当課へも伝えています。私自身、文化団体の皆さまとも意見交換を行いました。その声を受け止めながら、議論が前進するよう引き続き取り組みます。

議会以外の主な活動

全国の専門職議員ネットワークを設立

令和7年5月、「地域の健康づくりと福祉の向上を図る全国リハビリテーション地方議員の会」を設立し、初代会長を務めています。（現在27名）全国には私と同じ理学療法士や、また作業療法士、言語聴覚士の地方議員が多数います。それぞれが情報共有を行うことで、我がまちの福祉政策に活かすことにつながると思い、有志で準備から協議を重ね会の立ち上げとなりました。今回の一般質問にも活かされています。



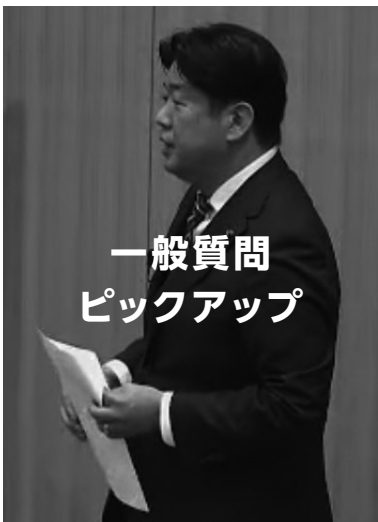
地方議員の会 設立総会時 場所／自民党本部

全国誌への掲載

地方議員向け月刊誌『地方議会人』より依頼を受け、議会が地域医療とどう関わるかインタビュー記事が掲載されました。

地域づくりの活動

議会活動に加え、武雄町まちづくり推進協議会の一員として、武雄町盆踊りの企画・運営や交流の場などの企画・運営を同じ委員会のメンバーで取り組んでいます。また別で市民有志による賑わいづくり活動にも取り組んでいます。



一般質問ピックアップ

財政運営と事業評価

過去の財政データを見ると、決して余裕があるとは言えません。人口減少時代を見据え、次の点を質問しました。

- さらなる歳入の確保への策を
答弁↓ふるさと納税、競輪事業収入、基金運用の工夫
- 歳出の効率化への取り組みを
答弁↓事業見直し、公共施設の適正化、業務効率化
- 事業評価の見える化を
答弁↓効果の薄い事業の整理・廃止

市からは「歳入確保だけではなく、歳出についても事業評価を活用して、効果の薄い事業の廃止、公共施設の適正化などを進めていく。また事業評価の見える化も図っていく」との答弁がありました。

活気ある武雄市へーハブ都市構想

武雄市が掲げる「ハブ都市構想」について、私は次の点を提起しました。

- ハブは「目的」ではなく「手段」
- 官民連携・情報発信の強化
- 市役所内での共通理解づくり
- 周辺自治体との広域連携
- 使いやすい二次交通の整備

人・もの・金・情報が集まる西九州の拠点都市を目指し、具体的に各項目についての取り組みを行うべきと考え一般質問の中で訴えました。

子どもたちへの専門職による支援

武雄市では、放課後児童クラブなどに作業療法士・言語聴覚士を派遣する取り組みを行っています。11月からは派遣頻度も増加しました。

- 学校・支援員・専門職・保護者が連携できる体制づくり
- 飛騨市のように学校に作業療法士が関わる支援体制の検討を

を提案しました。市からは、県教育委員会の専門家派遣制度を活用していくとの答弁があり、今後の動きを引き続き確認していきます。

あとがき

政治に対する関心が改めて注目される今、大切なのは市民の皆さまに共感してもらえる政治だと感じています。市民目線を大事にし、声を聞き、その思いを政治の場で形にしていこう。その積み重ねが、信頼につながると考えています。これまでも武雄の皆様からたくさんの声を伺ってきました。その中には議会は「議員はどう考えてるの?」ということもあります。皆様からいただいた立場だからこそ、皆様の声を、思いを大事に取り組むことが大事と考えています。武雄市は今の武雄市民のために、未来の武雄のために。その思いを忘れずに取り組みます。



政治は日常！

とよむら貴司後援会
TEL.090-3739-1177

発行者／豊村貴司 〒843-0021 武雄市武雄町大字永島14924-7 (メール)toyomuratakashi@gmail.com

公式ホームページ

とよむら貴司

検索

toyomuratakashikouenkai.jimdofree.com

WEB



LINE



Instagram



facebook



討議資料